

■ 令和3年度音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜 実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲

1. 実技試験課題曲

I. 声楽専攻

演奏時間6分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になっても構いませんが、演奏時間の合計が6分程度になるようにしてください。5分未満の場合は失格になることがあります。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することがあります。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

II. 器楽専攻（弦楽器コース）

器楽専攻弦楽器コース 共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの課題曲(b)については番号を、ヴァイオリン、ヴィオラの課題曲(c)については曲名を、自由曲については作曲者名と曲名を、弦楽器提出用紙に**欧文で記入**してください。
- (5) コントラバスの受験者は、弦楽器提出用紙の楽器借用希望欄の希望の有無に○を付けてください。
- (6) ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

○ヴァイオリン

- (1) 課題曲
 - (a) Carl Flesch: Scale System より e-moll
No. 5 全部、No. 6（1～4小節）、No. 7（1～4小節）、No. 8（1～4小節）
リズムとスラーは C-dur に準じます。（重音は8つずつのスラー）
 - (b) N. Paganini: 24 Capricci für Violine solo Op. 1 より任意の1曲。
 - (c) 下記2曲のうち1曲を選択して演奏してください。
J. S. Bach: Partita für Violine solo Nr. 1 BWV1002 より Allemanda
(Double は含まない)
J. S. Bach: Sonata für Violine solo Nr. 3 BWV1005 より Largo
- (2) 自由曲
古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章を演奏してください。
カデンツァを含みます。

○ヴィオラ

(1) 課題曲

(a) Carl Flesch: Scale System より任意の調

No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。

(b) B. Campagnoli: 41 Caprices Op. 22 より任意の1曲

(c) J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello solo より BWV1007~1009 の任意の楽章。

(2) 自由曲

古典派の任意の協奏曲の第1楽章を演奏してください。カデンツァを含みます。

○チェロ

(1) 課題曲

(a) J. Loeb: Gammes et Arpèges より Es-dur

イ) 4オクターブの音階

ロ) 4オクターブの分散3度

ハ) 4オクターブのアルペッジョ

ニ) 2オクターブの3度重音

ホ) 2オクターブの6度重音

スラーは、イ)、ロ) は4つずつ、ハ) は3つずつ、ニ) とホ) は2つずつとします。

(b) J. L. Duport: Studies for Cello より任意の1曲

(2) 自由曲

古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第1楽章を演奏してください。

カデンツァを含みます。

○コントラバス

(1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

(a) 音階 C-dur 2オクターブ 譜例参照

譜例

The musical score consists of five staves of music for double bass. The first staff is in 2/4 time with a treble clef, showing a scale exercise with slurs and accents. The second and third staves are in 2/4 time with a bass clef, showing a scale exercise with slurs and accents, and include 'sva' markings. The fourth staff is in 6/8 time with a bass clef, showing a scale exercise with slurs and accents. The fifth staff is in 2/4 time with a bass clef, showing a scale exercise with slurs and accents, and includes flat accidentals.

(b) J. Hrabě: 86 Etüden より Nr. 7

(2) 自由曲

任意の自由曲を演奏してください。

○ハープ

- (1) 課題曲
 - (a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes pour la Harpe
Cinquante Etudes Op. 34 2^{ème} Livre より No. 41 と No. 48
 - (b) F. J. Naderman: 7 Sonates progressives より No. 3 Prélude と Sonatina 全曲
- (2) 自由曲はありません。

Ⅲ. 器楽専攻（管打楽器コース）

伴奏者は本学で用意します。

○フルート

- (1) 下記の2曲より当日指定します。
A. B. Fürstenau: 24 Studies (Bouquet des Tone) Op. 125 より No. 1, No. 2
 - (2) W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第1、第2楽章
第1、第2楽章ともにカデンツァなし
演奏箇所は、当日指定します。
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling: 48 Etudes Op. 31 より No. 1～18
G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass TWV40: 2-13 より No. 2, 3, 6
 - (2) L. A. Lebrun: Concerto No. 1 d minor より 第1楽章
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○クラリネット

- (1) Cavallini: 30 Capricci par Clarinetto (Ricordi 版) より
No. 19, 22 から当日指定します。
 - (2) E. Bozza: Fantasie Italienne pour Clarinette et Piano (Luduc 版)
- (1)、(2)いずれも暗譜の必要はありません。

○バスーン（ファゴット）

- (1) J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 vol. 2 より
No. 20, 21, 23, 29 の中から2曲を当日指定します。
 - (2) G. Ph. Telemann: Sonata in F minor 第1、第2楽章
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○サクソフォーン

(1) 音階

譜例の形の音階を各調（♭は6つ、♯は5つまで）より当日指定します。

- ・ テンポは4分音符=ca. 100 とします。
- ・ アーティキュレーションは、当日指定します。
- ・ 暗譜で演奏してください。

譜例



(2) W. Ferling: 48 Etudes より

No. 13, 14, 15, 16, 17, 18, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 35, 36 の中から当日指定します。
版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

(3) P. Creston: Sonata Op. 19 より第1楽章（Shawnee Press 版）

暗譜の必要はありません。

○ホルン

(1) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4（Bärenreiter 版）より第1楽章 カデンツァなし
暗譜の必要はありません。

(2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○トランペット

(1) T. Charlier: Solo de Concours（Schott 版）

暗譜の必要はありません。

(2) 音階 Arban: Complete Grand Method（ISM Collection 全音楽譜出版社）

65～81 ページより当日指定します。暗譜の必要はありません。

○トロンボーン

(1) E. Bozza: Ballade Op. 62（Leduc 版）

暗譜の必要はありません。

(2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○バストロンボーン

(1) E. Bozza: New Orleans（Leduc 版）

暗譜の必要はありません。

(2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○ユーフォニアム

- (1) J. Demersseman: Grande fantasia sur Don Juan de W. A. Mozart (Billaudot 版)
繰り返しなしで演奏してください。暗譜の必要はありません。
- (2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○チューバ

- (1) Alexey Lebedev: Concerto No. 1 for Tuba and Orchestra (Hofmeister 版)
暗譜の必要はありません。
- (2) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

○打楽器 (スネアドラム)

スネアドラムは各自持参したものを、マリンバは本学の楽器を使用してください。
演奏を途中でカットする場合があります。

スネアドラム

- (1) 深町 浩司: 新しい打楽器メソッド (スタイルノート社) より 124 ページから
126 ページの「実践的なフレーズトレーニング」の中から当日指定します。
スナッピーoff、4分音符=ca. 90 で演奏してください。
- (2) All-American drummer (Ludwig Masters 版) より
Wilcoxon's 132nd, 133rd, 134th, 135th, 136th, 137th, 138th の中から当日指定します。
- (3) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (Hofmeister 版)
【25 番、27 番、29 番、30 番、39 番の中から当日指定】

ティンパニ

- (1) Heinrich Knauer: Paukenstudien aus der Paukenschule, Band 2 (Hofmeister 版) より
Nr. 58. in C u. G 4分音符=ca. 72 で演奏してください。

マリンバ

- (1) J. S. Bach: Violin Partita No. 3 in E major BWV 1006 より Preludio (版の指定なし)
実音で2本マレットで演奏してください。

○打楽器 (マリンバ)

スネアドラムは各自持参したものを、マリンバは本学の楽器を使用してください。
演奏を途中でカットする場合があります。

スネアドラム

- (1) ルーディメンツ Collection Drum Solos (Ludwig Masters 版)
2 ページと 48 ページ (No. 1 から No. 26) の中から当日指定します。
いずれも「非常に遅く→非常に速く→非常に遅く」のスタイルで演奏してください。
- (2) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (Hofmeister 版) より 28 番
- (3) All-American drummer (Ludwig Masters 版) より Wilcoxon's 133rd (繰り返しなし)

マリンバ

- (1) J. S. Bach: Violin Partita No. 3 in E major BWV 1006 より Preludio (版の指定なし)
実音で2本マレットで演奏してください。
- (2) Alfred Fissinger: Suite for Marimba より “Bastogne Convoy” (版の指定なし)

2. 音楽の基礎的能力試験

・ピアノ

作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

音階：Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。

・ソルフェージュ

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

新曲視唱

歌詞を伴わない初見視唱1題

聴音

単旋律課題1題

4声体和声課題1題 (器楽専攻弦楽器コースのみ)

・楽典

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

所要時間は40分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般

令和3年度音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜 試験問題

I. 器楽曲作曲（作曲専攻作曲コース）

次の2つのモチーフのうち、どちらかをを用い器楽曲を作曲しなさい。
テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。

☆注1

☆注2

☆注1 最後の音符の長さは自由。

☆注2 最後のスラーをどこまで続けるかは自由。

II. 音楽学の基礎的能力試験（作曲専攻音楽学コース）

【試験問題】

- I. 全文を日本語に訳してください。
(英文省略) ※

出典：Sondra Wieland Howe, “The Role of Women in the Introduction of Western Music in Japan” *The Bulletin of Historical Research in Music Education*, (Jan 1995)

II 次の英文を読んで、以下の問いに答えてください。

(英文省略) ※

- ① 音楽を聴くための媒体の変遷について、まとめてください。
- ② 上記のことを踏まえて、あなたがこれまで、どのように音楽を聴いてきたか、述べてください。

出典：J. Peter Burkholder, Donald Jay Grout, and Claude V. Palisca. *A History of Western Music*. 10th edition. New York: W. Norton, 2019.

【出題の意図】

学部における音楽学研究に必要な、語学の能力および理解力を備えているかを問う。

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。
(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)

III. 楽典 (作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース)

【試験問題】

別紙の譜例 (Chopin, Nocturne Op. 48 No. 1、冒頭の15小節) を見て、以下の設問に答えなさい。

1. (1)～(10)に示されている音程を答えなさい (例：長3度、等。なお音程はすべて単音程にして答えなさい)。
2. (1)～(10)の音程のうち、転回音程の関係にあたるものをすべて答えなさい ((□)と(△)というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程にして考えなさい)。
3. (1)～(10)の音程のうち、異名同音程 (例えば、減8度と長7度のような音程) の関係にあたるものをすべて答えなさい ((□)と(△)というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程にして考えなさい)。
4. A～Fに示されている各和音の種類 (例：長三和音、等) とその転回形 (基本形、第1転回形、等) を答えなさい。
5. Bの和音の属する調名を全て日本語で答えなさい (短調は和声短音階とする)。
6. Dの和音を下属和音とする調の平行調の同主調の音階の上行形を、主音から主音まで全音符で調号を用いずに (臨時記号を用いて) アルト譜表上に書きなさい。
7. イとロの部分の調名を日本語で答えなさい。
8. この曲のタイトルである **Nocturne** の日本語名を漢字で書きなさい。
9. 譜例内の下記の楽語の意味を選択肢から選んで答えなさい。
 - (1) Lento
 - (2) *mezza voce*

(意味)

1. きわめて速く
2. 自由な速さで
3. 半分の声で
4. だんだん小さく
5. 正確な速度で
6. すぐに速く
7. 遅く
8. 愛情をこめて
9. 重く
10. 中音域の声で

【譜例】

Lento
mezza voce

(1) (2) A

(3) (4) B

(5) (6) C D

イ □

(7) (8)

E F (9) (10) p

【解答】

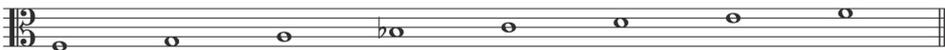
1. (1) 短2度 (2) 長6度 (3) 減7度 (4) 減8度
 (5) 増1度 (6) 増5度 (7) 増4度 (8) 減4度
 (9) 長3度 (10) 短3度

2. (2) と (10)、(4) と (5)、(6) と (8)

3. (1) と (5)、(2) と (3)、(8) と (9)

4.	和音の種類	和音	転回形
A	<u>減五短七の</u>	<u>和音</u>	<u>第1転回形</u>
B	<u>短三</u>	<u>和音</u>	<u>第1転回形</u>
C	<u>属九の</u>	<u>和音</u>	<u>基本形</u>
D	<u>長三</u>	<u>和音</u>	<u>第1転回形</u>
E	<u>減七の</u>	<u>和音</u>	<u>第2転回形</u>
F	<u>属七の</u>	<u>和音</u>	<u>第1転回形</u>

5. 変ロ長調、変イ長調、変ホ長調、ハ短調、ト短調

6. 

7. イ ト短調
 ロ 変ニ長調

8. 夜想曲

9. (1) 7
 (2) 3

V. 聴音

・旋律（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

The musical score is written in a single treble clef with a key signature of one flat (B-flat major) and a 4/4 time signature. It consists of four staves of music. The first staff contains a simple melody of quarter and eighth notes. The second staff continues the melody with eighth notes and rests. The third and fourth staves feature triplet patterns and more complex rhythmic figures, including sixteenth notes and eighth notes.

・四声（器楽専攻弦楽器コース）

（最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

The musical score is written in a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of one flat (B-flat major) and a 2/2 time signature. It consists of two staves of music. The top staff (treble clef) contains a series of chords, and the bottom staff (bass clef) contains a series of notes that support the chords. The progression is simple and harmonic.

VI. 新曲視唱 (作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース)

(予見時間は1分30秒。主和音及び開始音を与える。)

Andante

The musical score is written in treble clef, 6/8 time, and D major. It consists of three staves of music. The first staff begins with a piano (*p*) dynamic and a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The second staff features a forte (*f*) dynamic and a sub-piano (*sub. p*) dynamic. The third staff begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic and ends with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The music includes various rhythmic patterns, slurs, and dynamic markings.